

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 29 週（2024/7/15～7/21）感染症発生動向調査速報値（2024/7/24 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **463** 人、定点医療機関当たり **9.85** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科29定点、内科18定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

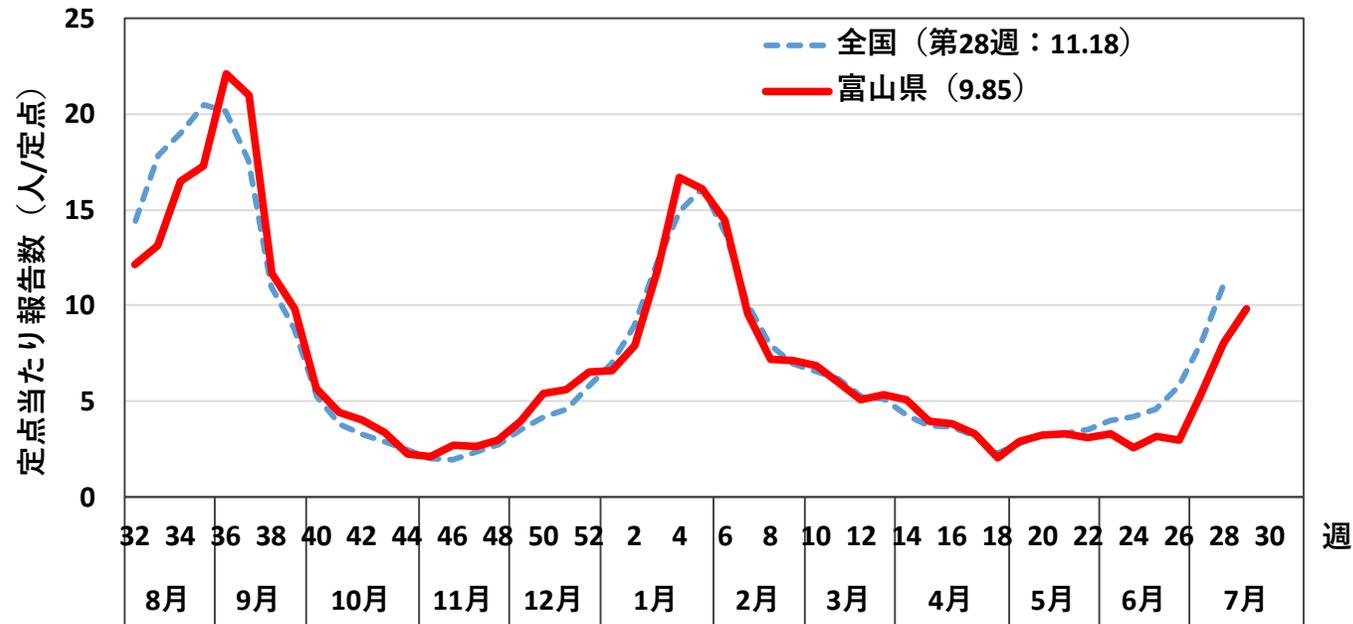
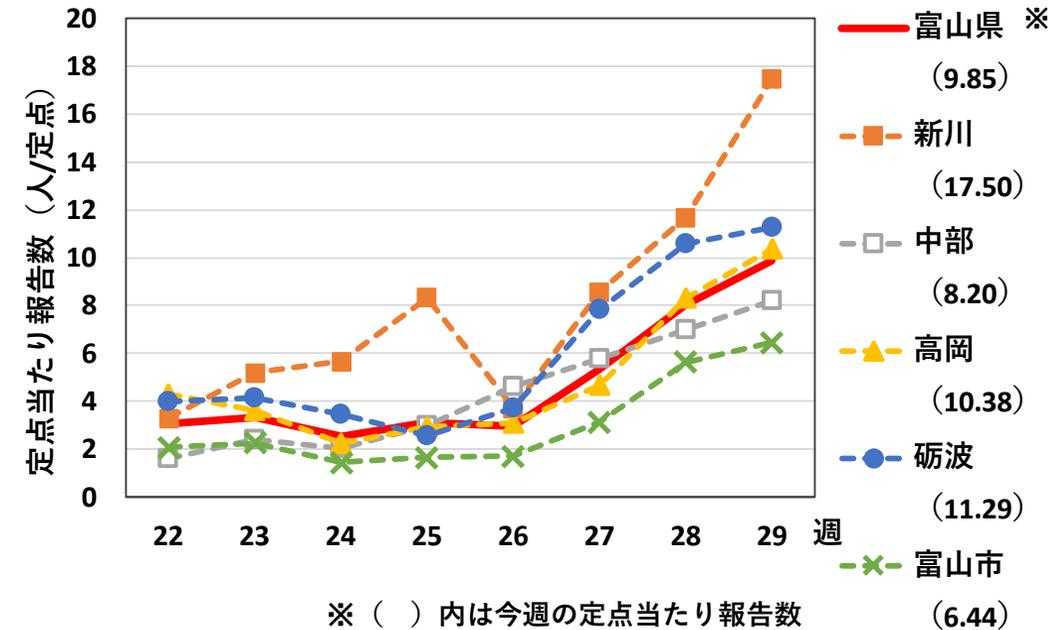


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- ・ 今週の定点医療機関当たり報告数は9.85人/定点であり、先週（8.02人/定点）から増加した（図1）。
- ・ 厚生センター・保健所管内別にみると、第27週以降すべての管内で増加傾向となっている（図2）。

図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

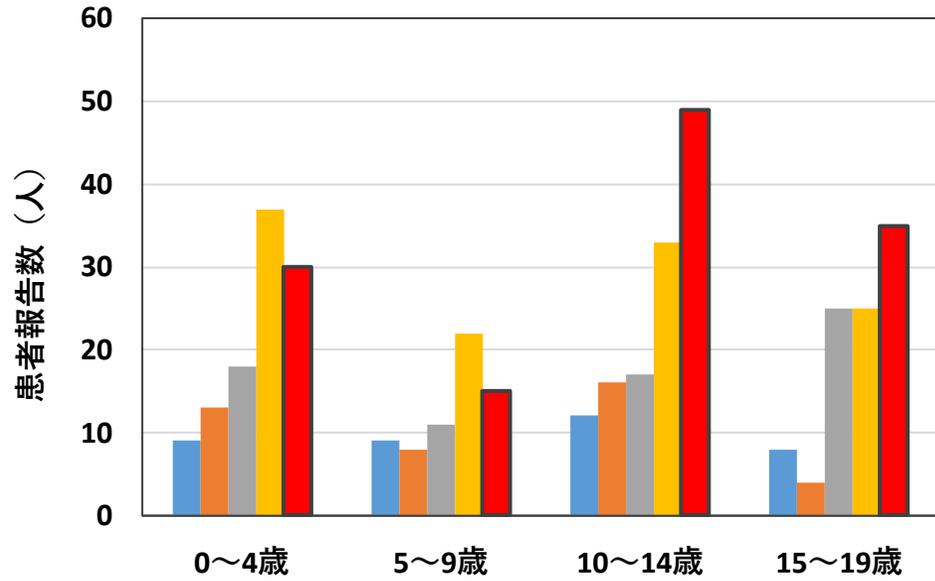
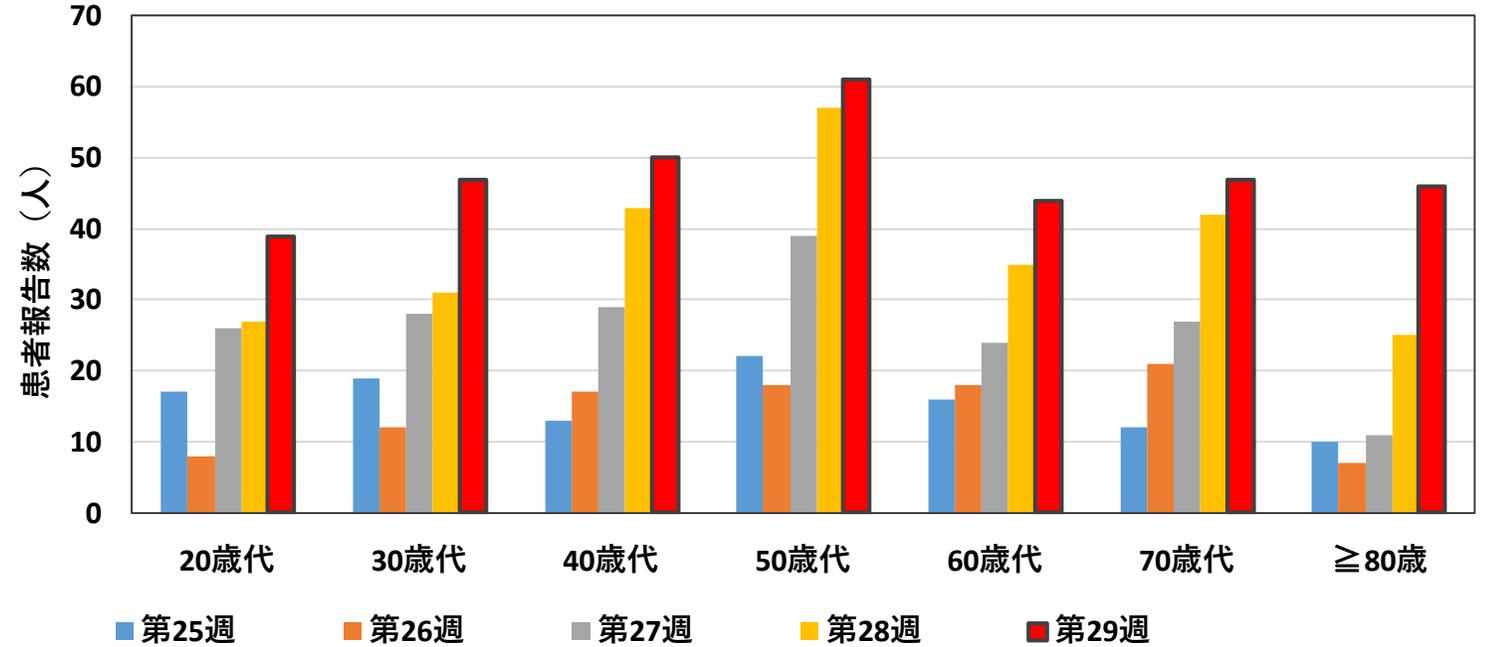


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：18定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 10歳代以上の各年齢層で先週から増加した。一方、0～9歳では先週から減少した。

図4. COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）

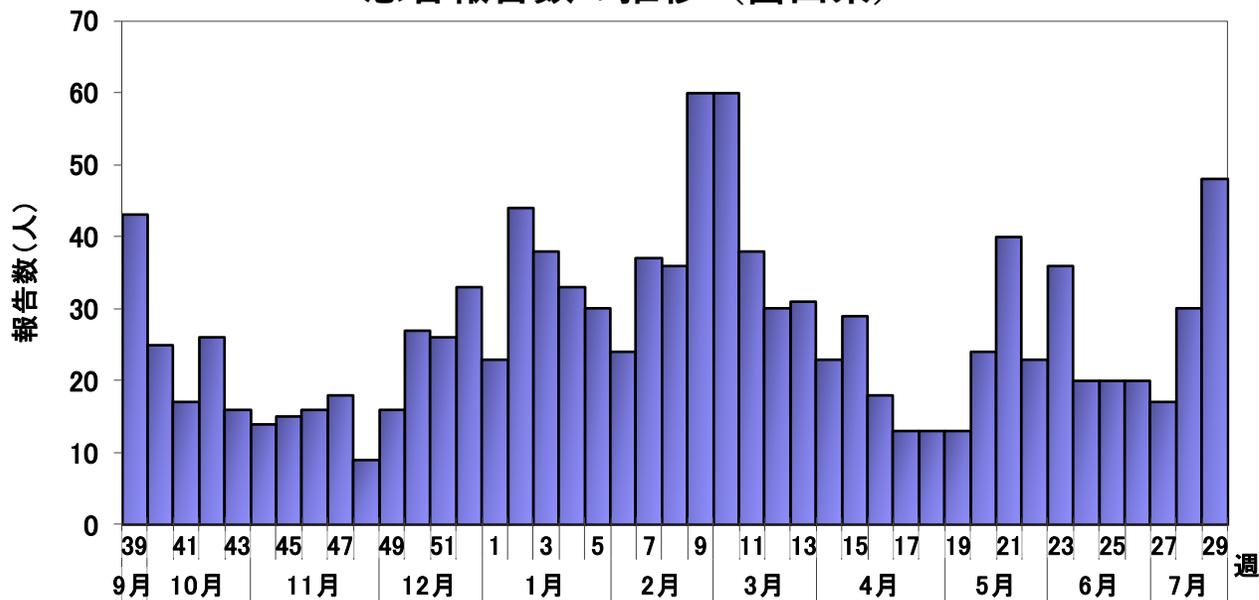
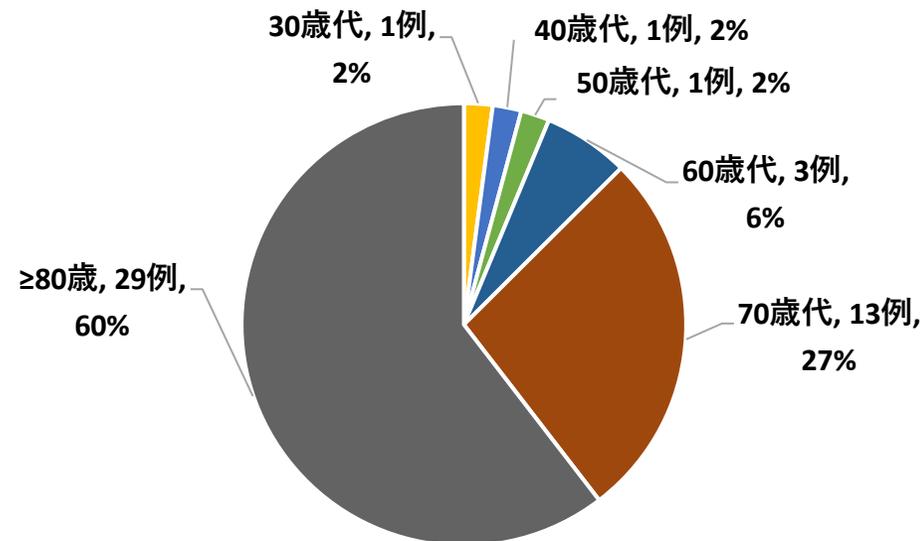


図5.COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第29週、48例）



※割合 (%) は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第29週に48例の入院報告があり、先週（30例）から増加した（図4）。
- 患者の年代は、70歳代が13例、80歳以上が29例で、70歳以上が87%を占めた。30歳代、40歳代、50歳代で各1例、60歳代で3例の報告があった（図5）。
- COVID-19の患者報告数は、県内では第19週以降横ばいであったが、第27週以降増加傾向となっている。入院患者数も同様に増加しており、今後の重症例の増加が懸念される。引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。